

# 日本 P N F 学 会 会 誌 投 稿 規 定

## 投 稿 要 綱

1. 本誌への投稿資格は本学会会員とする。ただし、原稿依頼に関してはこの限りではない。
2. 研究や調査の際に、倫理上人権上の配慮がなされていること。
3. 原稿は未発表のものに限る。(投稿中の原稿も対象外とする)。
4. 原稿は次のカテゴリーのいずれかに分類する。
  - 総説：研究や調査論文の総括および解説
  - 原著：未発表のオリジナルな研究論文
  - 研究と報告：明確な構想に基づき、研究調査結果をまとめたもの（事例報告等も含まれる）
  - その他
5. 投稿原稿の採否は、査読後に本学会の編集委員会において決定する。
6. 審査の結果は投稿者に通知する。
7. 原稿の分量および形式は以下の通りとする。
  - 1) 和文原稿はパソコン（テキストファイル形式保存）を用い、A4 版横書き、縦 40 行／横 40 字の 1,600 字分を 1 枚とし、引用文献、図表、写真等を含み、本文の合計が概ね 7 枚（11,200 字相当）以内とする。1,600 字用紙で概ね 3 枚程度の短報も可能。
  - 2) 英文原稿の場合は、ダブルスペースでパソコン（テキストファイル形式保存）を用いて、引用文献、図表、写真等を含み、A4 版横書き概ね 15 枚以内とする。
  - 3) 図表、写真等は、それぞれ 1 枚につき 400 字分と換算し、合計概ね 5 枚以内とする。図は製版できるよう作成し、保存して添付のこと。写真は白黒を原則とし、カラー写真印刷の場合は実費負担とする（デジカメ使用でフロッピー等保存が望ましい）。
8. 原稿の執筆は次の号に従うものとする。
  - 1) 原稿の表紙（1 枚目）に、表題（和文／英文）、著者名（日本字／ローマ字）、所属機関名（日本語／英表記）、希望する原稿のカテゴリー（総説／原著／報告／短報／その他）を明記する。原稿本文（2 枚目以降）には、和文の要旨（400 字以内）、キーワード（5 語以内）、本文、引用文献、英語要旨（300 語以内の Abstract）、Keywords（5 語以内）、図・表・写真の順に記載する。1 枚目からページ番号を付ける。
  - 2) 本文：はじめに、対象と方法、結果、考察、引用文献に分けて記載する。それぞれの項目の中で小項目を記載するときには、例）対象と方法 1. 対象 2. 課題 3. 実験機器と手順・・・のように半角数字をつけて小項目に分ける。
  - 3) 図表および写真は 1 枚ずつ記載する。
  - 4) 年号は原則として西暦を使用し、外国語、外国人名、地名等は原語もしくはカタカナ（最初は原綴りを併記のこと）で書く。略語は本文中の最初に出たところで正式名称を入れる。
  - 5) 引用文献の記載方法
    - ①本文中の該当箇所の右肩に、順に 1), 2), の通し番号を付し、文末に番号順に掲げる。
    - ②雑誌の場合  
著者名. 題名. 雑誌名. 巻(号). 引用ページ. 発行年. の順に記載する。
    - ③単行本の場合  
著者名. 題名. 監修ないし編集者. 書名. 版数. 引用ページ. 発行社名. 発行地. 西暦発行年. の順に記載する。
    - ④著者名が 4 名以上の場合、3 名連記の上、○○○他、または○○○ et al. とする。
9. 原稿はパソコン（ワード形式保存）で作成する。
10. 原稿提出方法はメールのみとし、件名を「PNF リサーチ投稿」とする。

原稿提出は上記に従って記載した正原稿を保存したファイル（ファイル名は正原稿として保存する）と原稿の表紙（1 枚目）に記載した著者名、所属機関名を削除した副原稿（ファイル名は副原稿として保存する）の 2 ファイルを添付してメールする。査読後の修正ファイルの提出も同様とする。

原稿送付メールアドレス：pnfoffice@pnfsj.com
11. 著者校正は 1 回とする。また、ページ数の変更にあつたような大幅な変更は認めない。
12. 採択した原稿は原則として返却しない。不採用原稿については、当方で破棄する。
13. 本誌に掲載された論文の著作権は「日本 PNF 学会」に帰属する。

以上